



聖書の言葉に耳を傾けてください

特別伝道集会

■ 1日目

5月12日(土)

場所: 富山県民会館 6階(613号室)
時間: 午後 2時~3時

場所: キリスト集会所
時間: 夜 7時半~8時半

■ 2日目

5月13日(日)

場所: 富山県民会館 6階(613号室)
時間: 午後 2時~3時

■ 語り 木野田 信道氏 (埼玉県在住)

富山県民会館 案内図



〒930-0006 富山県 富山市 新総曲輪 4番18号
☎ 076-432-3111

富山駅(南口)から徒歩10分
又は地鉄バス主要路線 市役所前下車すぐ

定期集会のご案内

~毎週聖書の福音をお伝えしています~

福音伝道集会

富山県民会館
毎月 第1日曜日 午後 2:30~3:30

キリスト集会所

毎週 日曜日 午後 2:00~3:00
※第1日曜以外
水曜日 午後 7:30~8:30

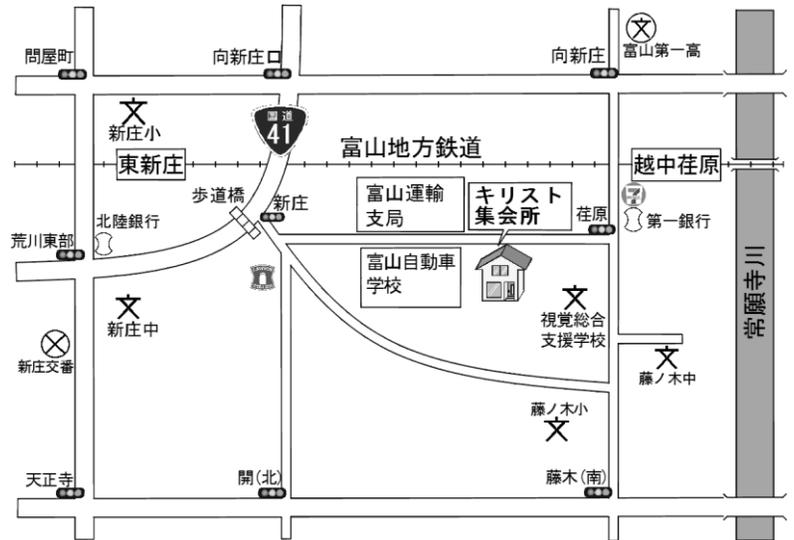
こども会 (未就学~小学4年生)

学生会 (小学5年生~大学生)

キリスト集会所
毎週 日曜日 午後 1:00~1:30

集会は一切無料・出入り自由です。

キリスト集会所 案内図



◆当集会ではご希望の方に(新約)聖書と聖書に関する印刷物を無料でお送りしております。

郵便番号、住所、氏名を明記の上、郵送、FAX又は電子メールにてお送りください。

< 主催 >

富山キリスト集会

〒930-0992 富山県 富山市新庄町 119-1
TEL/FAX 076-492-2529 (キリスト集会所)
076-483-2535 (石崎) / 076-462-9179 (長谷)
e-mail shepherd@aaa.email.ne.jp
「聖書の福音」ホームページ
<http://www.ne.jp/asahi/bible/gospel/>

人生の選択

私たちは生きていく中で様々な選択をしています。若い方は進学や就職、結婚などで重要な選択をしていく必要があり、年配の方も家庭の事、仕事の事で時に大きな決断をすることがあると思います。そのように重要な選択をする時、私たちはよく考えて最善の選択をしているつもりでも、後になってあの時にこうすればよかったと後悔することも少なくないのではないのでしょうか？

聖書は、私たちの人生について言及する書物です。その中で、「人間には、一度死ぬことと死後にさばきを受けることが定まっている」と書かれており、死後の事を考え、人生をどう送るか考えるように、私たち人間に勧めています。人生の中で大きな成功を得たとしても、または幸せを得たとしても、永遠のいのちを得ることがなければその選択は間違いだったと死後に後悔することになります。「人の目にはまっすぐに見える道がある。その道の終わりは死の道である」

(聖書)。自分にとって正しいと思える選択も死後の事を考えていなければ失敗することとなります。

聖書が勧めている選択は、この世界を創造し支配している神様の存在を認め、これまであなたがその神様を無視していたこと(すなわち、罪)を悔い改め、神様が準備した救いを受け入れるという選択です。

「イエスは彼に言われた。『わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません。』」(聖書)

どうぞ、聖書のことばに耳を傾けてくださるようにお勧めします。



あなたにとって救いは必要ですか？

ある方は、「キリストを信じる人は、弱い人だ。」と言われます。聖書には、以下のよう

に記されています。「すべて、疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのところに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。わたしは心優しく、へりくだっているから、あなたがたもわたしのくびきを負って、わたしから学びなさい。そうすればたましいに安らぎが来

ます。わたしのくびきは負いやすく、わたしの荷は軽いからです。」(聖書)

このことばは、何かしらの助けを必要としている人々に対しての招待状のようなものです。

また、聖書には以下のようにも記されています。

「医者が必要とするのは丈夫な者ではなく、病人です。わたしは正しい人を招くためではなく、罪人を招くために来たのです。」(聖書)

このことばは、正しい人を健康な人、罪人を病人(医者の助けが必要な人)に例えています。やはり、キリストが招いているのは助けが必要な人のようです。

このように、聖書に記されている内容を見ると、「キリストを信じる人は、弱い人だ。」との考えは、あながち間違いではなさそうです。「弱い人」を「助けを必要としている人」と読み替えれば、むしろ、的を射ていると言えそうです。

次のことばは、イエス・キリストに会いたい、話を聞きたい、病気を治してもらいたいなど、様々な目的で集まった多くの人々を見た時の、イエス・キリストの心情を表しています。

「また、群衆を見て、羊飼いのない羊のように弱り果てて倒れている彼らをかawaiiそうに思われた。」(聖書)

集まっていた人々の中には病気の方もいたでしょうが、健康な方も多かったと思います。しかし、イエス・キリストにとって、集まった人々は皆「弱り果てて倒れている」ように感じられました。罪人を病人に例えられましたが、罪人(神様の前に罪を持っている人)は、イエス・キリストにとって「弱り果てて倒れている人」であり、「助けが必要な人」なのです。

そして、次のようにも記されています。

「神は、すべての人が救われて、真理を知るようになるのを望んでおられます。神は唯一です。また、神と人との間の仲介者も唯一であって、それは人としてのキリスト・イエスです。キリストは、すべての人の贖いの代価として、ご自身をお与えになりました。これが時至ってなされたあかしなのです。」(聖書)

このことばは、すべての人が神様の前に「病人」であり、「助けが必要な人」であることを示しています。そして、神様はそのような一人ひとりを、一人の例外もなく救いたいと考えられました。その方法が、イエス・キリストの十字架なのです。

どうぞ、特別伝道集会においでくださり、すべての人に必要な救いをお知りください。そして、神様があなたのために準備された救いを、ご自身のものとして受け入れる方とされますように、心からお勧めいたします。

